

歴史的景観保全事業

平成31年 / 令和元年度事業実績

横浜市都市整備局都市デザイン室

<事業の概況>

1 歴史的建造物の保全活用

- (1) 歴史的建造物の登録
- (2) 歴史的建造物の認定
- (3) 現状変更行為に対する指導及び助言
- (4) 歴史的建造物の保全契約
- (5) 特定景観形成歴史的建造物
- (6) 歴史的建造物に対する助成
- (7) 歴史的景観保全委員
- (8) 文化財等の活用に関する検討

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

- (1) サポートズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の広報
- (2) 広報紙等の発行
- (3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催
- (4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催
- (5) サイン等の整備

3 その他

- (1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営
- (2) 関連団体等
- (3) サポートズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の運用
- (4) 新たな制度検討

<資料>

- ・ 横浜市認定歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市認定解除歴史的建造物一覧表
- ・ 横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表
- ・ 横浜市特定景観形成歴史的建造物一覧表
- ・ 第16期 横浜市歴史的景観保全委員名簿
- ・ 歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績
- ・ 歴史的景観保全事業 事業費の推移
- ・ 歴史的景観保全活用事業 横浜サポートズ寄附金（ふるさと納税）寄附額の推移

＜事業の概況＞

横浜には、都心臨海部を中心に、開港以来の近代建築や西洋館、土木産業遺構が残されており、郊外部には、農村の風情を伝える古民家や社寺が残されています。これらの歴史的資産を再評価し、まちづくりの資源として位置付け、保全活用を積極的に行っています。

昭和63年度に施行した「歴史を生かしたまちづくり要綱」に基づき、景観的に価値の高い歴史的建造物を「登録」し、そのうち、特に重要なもので、将来の保全活用計画について所有者の同意が得られたものを「認定」しています。

この要綱は、歴史的景観の保全を目的としており、外観を保全する代わりに、内部は歴史的建造物の魅力をいかしつつ使いやすいうように改修することができ、凍結的な保存より、現役で長く使い続けてもらうことを狙いとしています。

令和元年度は、横浜ベイブリッジのたもとにある「旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台」を新たに認定し、令和元年3月末で、「登録」は206件、そのうち「認定」は96件となりました。

歴史的建造物に認定されると、外観保全、耐震改修（構造補強）や維持管理の費用が助成の対象となります。令和元年度は、宇田川邸（平成6年認定）、旧市原重治郎邸（平成29年度認定）、井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）（平成30年度認定）、山手26番館（平成25年度認定）の外観保全工事等の費用の一部を助成しました。

北仲北地区では、再開発事業を伴う大規模なまちづくりの中で、事業者との長年の協議を経て、旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫（平成25年度認定）の一部が保全され、ビルボードライブ横浜等が出店し、新たな賑わいの創出が期待されます。

一方、相続問題や開発、耐震性に対する所有者の不安など、歴史的建造物の保全活用を取り巻く環境はますます厳しさを増し、認定や助成事業、横浜市市街地環境設計制度によるインセンティブの付与だけでは十分な対応とは言えず、「歴史を生かしたまちづくり相談室」による相談受付など、所有者に寄り添った対応が求められています。

1 歴史的建造物の保全活用

(1) 歴史的建造物の登録

歴史を生かしたまちづくり要綱（第4条）に基づき景観上価値がある歴史的建造物を登録しています。平成30年度末までに206件の歴史的建造物を登録しました。

令和元年度の新たな登録はありませんでした。

[登録歴史的建造物総括表]

種 別	～平成30年度	平成31/令和元年度	合 計
社 寺	23件		23件
古 民 家	28件		28件
近代建築（除：西洋館）	54件		54件
西 洋 館	38件		38件
近代和風建築	6件		6件
土木産業遺構	56件		56件
近現代建築物	1件		1件
合 計	206件	±0件	206件

(2) 歴史的建造物の認定

登録歴史的建造物のうち特に重要な価値を有する歴史的建造物について、歴史を生かしたまちづくり要綱（第10条）に基づき認定しています。平成30年度末までに95件の歴史的建造物を認定しました。

令和元年度は、「旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台」を新たに認定しました。

[認定歴史的建造物総括表]

種 別	～平成30年度	平成31/令和元年度	合 計
社 寺	0件		0件
古 民 家	14件		14件
近代建築（除：西洋館）	32件		32件
西 洋 館	22件		22件
近代和風建築	2件		2件
土木産業遺構	25件	+1件	26件
近現代建築物	0件		0件
合 計	95件	+1件	96件

(3) 現状変更行為に対する指導及び助言

歴史を生かしたまちづくり要綱（第7条・第15条）に基づき歴史的建造物の現状変更行為に対する指導及び助言を行ないます。

令和元年度は、認定歴史的建造物の改修等、14件の現状変更行為届出書が提出され、個別に指導及び助言を行ないました。

(4) 歴史的建造物の保全契約

歴史を生かしたまちづくり要綱（第9条）に基づき歴史的建造物の保全活用について所有者と保全契約を締結しています。

平成30年度末までに2件（「横浜海洋会館」「ジャパンエクスプレスビル」）の保全契約を締結しています。

令和元年度は新たに「横浜貿易会館」の保全契約を締結し、「横浜海洋会館」の保全契約の期間満了に伴い契約更新を行いました。

(5) 特定景観形成歴史的建造物

「横浜市魅力ある都市景観の創造に関する条例」（第14条の2）に基づき特定景観形成歴史的建造物の指定を行いません。特定景観形成歴史的建造物に指定されると建築審査会の同意を得て建築基準法の適用除外とすることが可能となります（建築基準法第3条第1項第3号）。

平成30年度末までに2件（「旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）」「旧藤本家住宅主屋及び東屋」）を指定しました。

令和元年度に新規に指定した歴史的建造物はありません。

(6) 歴史的建造物に対する助成

歴史を生かしたまちづくり要綱（第21条）に基づき歴史的建造物の保全活用に関する改修、維持管理等に対して助成を行いません。

令和元年度は、外観保全等4件、維持管理35件に対する助成を行いました。

<令和元年度 外観保全等助成対象事業>

- ・ 宇田川邸：屋根の外観保全工事
- ・ 旧市原重治郎邸：主屋及び蔵の外観保全工事
- ・ 井土ヶ谷上町第一町内会館（旧井土ヶ谷見番）：外観保全工事及び耐震改修工事
- ・ 山手26番館：外壁等の外観保全工事

(7) 歴史的景観保全委員

歴史を生かしたまちづくり要綱（第22条）に基づき、専門家の意見を取り入れ、歴史的景観の保全と活用を図るため歴史的景観保全委員を置いています。

令和元年度は13名の委員を置き、連絡調整会議を2回（5月17日・12月17日）開催し歴史を生かしたまちづくりに関する意見の聴取を行ないました。また、個別の歴史的建造物の保全活用についても各担当委員から意見聴取を行いました。

(8) 文化財等の活用に関する検討

国指定文化財、市指定文化財及び登録文化財等の活用検討や保全に関する技術支援を行いません。

令和元年度は、金澤園（金沢区・国登録文化財）、旧横浜生糸検査所附属倉庫事務所（中区・横浜市指定有形文化財）の保全及び活用に関する技術的支援を行ないました。

2 「歴史を生かしたまちづくり」に関する普及啓発

(1) サポーターズ寄附金（ふるさと納税）「歴史を生かしたまちづくり保全活用事業」の広報

制度に関するちらしを作成し各区役所へ配架したほか、イベントに合わせた横浜駅構内へのポスター掲出、区民まつり等での広報を実施しました。

(2) 広報紙等の発行

歴史を生かしたまちづくり横濱新聞など、歴史を生かしたまちづくりに関して市民向けの広報紙を発行しています。

＜令和元年度 新規広報物発行実績＞

- ・ 歴史を生かしたまちづくり横濱新聞 第35号（令和元年11月30日発行）
- ・ 都市の記憶 横浜の土木遺産 復刻版（令和元年9月発行）

(3) 歴史を生かしたまちづくりセミナーの開催

歴史を生かしたまちづくりに関する市民向けのセミナーを開催しています。

令和元年度は「第42回歴史を生かしたまちづくりセミナー 野毛山のヒミツ ～ どうしてハマっ子の憩いの場になったのか？～」と題し、8月4日に横浜中央図書館で開催し、約80人の参加がありました。

(4) 区や市民団体、歴史的建造物所有者との連携によるイベントの開催

歴史を生かしたまちづくりに関するイベントを、区や市民と連携し実施しています。

＜令和元年度 後援等実績＞

- ・ ほどがや歴史まちあるき2020 [オープンヘリテージ]（協力）
- ・ コンサート in ヘリテージ「ピアノが案内する横浜の歴史とまち vol.8」（協力）
- ・ ボックスタウン 開港5都市 チャリティ・ワークショップ（後援）
- ・ 開港5都市景観まちづくり会議2019横浜大会（共催）

(5) サイン等の整備

歴史的建造物の周知・普及のため、認定歴史的建造物の表示や、街路での歴史的建造物案内サインの整備等を行なっています。

令和元年度は横浜サポーターズ寄附金（ふるさと納税）を充当し田邊家住宅（日吉の森庭園美術館）（平成27年度認定）の認定プレートの設置、旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫（平成25年度認定）と吉野橋（平成30年度認定）の認定プレートの製作を行いました。

3 その他

(1) 歴史を生かしたまちづくり相談室の運営

歴史的建造物所有者支援の一環として公益社団法人横浜歴史資産調査会と連携し「歴史を生かしたまちづくり相談室」を運営しています。

令和元年度は新たな相談はありませんでしたが、過年度からの複数の相談案件について継続して相談を受けています。

<歴史を生かしたまちづくり相談室概要>

連絡先 : 公益社団法人横浜歴史資産調査会 (ヨコハマヘリテイジ) 内
「歴史を生かしたまちづくり相談室」係

電話 : 045-651-1730

※毎週水曜日 午前 10 時から午後 3 時まで (年末・年始・祝日を除く)

F A X : 045-651-1730 (随時)

Eメール: yh-info@yokohama-heritage.or.jp (随時)

郵送 : 〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405 号室 (随時)

(2) 関連団体等

公益社団法人横浜歴史資産調査会と基本協定 (平成 27~31 年度) 及び実施協定を締結し歴史を生かしたまちづくりに関する取組を推進しています。

また、歴史的景観都市連絡協議会に加盟し情報交換等を行なっています。

(3) サポーターズ寄附金 (ふるさと納税) 「歴史的景観保全活用事業」の運用

平成 28 年度から、横浜サポーターズ寄附金 (ふるさと納税) 「歴史的景観保全活用事業」の運用を開始しました。

<ふるさと納税実績 (令和元年度) >

金額: 612, 205 円

件数: 29 件 (個人 28 件、法人 1 件)

(4) 新たな制度検討

平成 25 年 11 月に策定した「『歴史を生かしたまちづくり』の推進について」等に基づき、歴史的建造物の保全活用を取り巻く環境が厳しさを増している現状を踏まえて、歴史を生かしたまちづくりに関する新たな制度の検討を行っています。

「横浜市中期 4 か年計画 2018~2021」における「政策 5 文化芸術都市による魅力・賑わいの創出」の中で、主な事業 (新規) として「歴史文化を生かした個性と魅力あるまちづくり」が位置付けられ、計画期間内に「歴史文化基本構想」を策定することとしています。

これに関連し、歴史的風致維持向上計画の策定を検討していることから、令和元年度は、「横浜市中における歴史的風致」の考え方等を整理し、歴史的風致維持向上計画の骨子を作成しました。

横浜市認定歴史的建造物一覧表

令和2年3月末

現在 96件

	名 称	種 別	所在地	認定時期
1	損保ジャパン日本興亜横浜馬車道ビル	近代建築	中区	昭和63(1988)年度
2	横浜指路教会	近代建築	中区	昭和63(1988)年度
3	カトリック山手教会聖堂	近代建築	中区	昭和63(1988)年度
4	旧横浜船渠第2号ドック	土木産業遺構	西区	平成元(1989)年度
5	横浜海岸教会	近代建築	中区	平成元(1989)年度
6	横浜山手聖公会	近代建築	中区	平成元(1989)年度
7	岩田健夫邸	西洋館	中区	平成元(1989)年度
8	横浜第2合同庁舎(旧生糸検査所)	近代建築	中区	平成2(1990)年度
9	旧澤野家長屋門	古民家	鶴見区	平成2(1990)年度
10	石橋邸	西洋館	中区	平成3(1991)年度
11	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成3(1991)年度
12	関東学院中学校	近代建築	南区	平成3(1991)年度
13	ホテルニューグランド本館	近代建築	中区	平成4(1992)年度
14	綜通横浜ビル(旧本町旭ビル)	近代建築	中区	平成5(1993)年度
15	旧東伏見邦英伯爵別邸	近代建築	磯子区	平成5(1993)年度
16	松原邸	西洋館	中区	平成6(1994)年度
17	宇田川邸	西洋館	中区	平成6(1994)年度
18	BEATTY邸(ビーティ邸)	西洋館	中区	平成6(1994)年度
19	エリスマン邸	西洋館	中区	平成6(1994)年度
20	ブラフ18番館	西洋館	中区	平成6(1994)年度
21	中澤高枝邸	西洋館	港北区	平成6(1994)年度
22	カトリック横浜司教館別館	西洋館	中区	平成6(1994)年度
23	カトリック横浜司教館(旧相馬永胤邸)	西洋館	中区	平成7(1995)年度
24	旧安西家住宅主屋	古民家	瀬谷区	平成7(1995)年度
25	旧大岡家長屋門	古民家	瀬谷区	平成7(1995)年度
26	旧金子家住宅主屋	古民家	戸塚区	平成7(1995)年度
27	旧円通寺客殿(旧木村家住宅主屋)	古民家	金沢区	平成8(1996)年度
28	新川家住宅主屋	古民家	旭区	平成8(1996)年度
29	旧臨港線護岸	土木産業遺構	中区	平成8(1996)年度
30	港一号橋梁	土木産業遺構	西区	平成8(1996)年度
31	港二号橋梁	土木産業遺構	中区	平成8(1996)年度
32	港三号橋梁(旧大岡川橋梁)	土木産業遺構	中区	平成8(1996)年度
33	長浜ホール(横浜検疫所長浜措置場旧細菌検査室、横浜検疫所長浜措置場旧事務棟)	近代建築	金沢区	平成9(1997)年度
34	旧清水製糸場本館(天王森泉館)	古民家	泉区	平成9(1997)年度

	名 称	種 別	所在地	認定時期
35	横浜情報文化センター（旧横浜商工奨励館）	近代建築	中区	平成 10(1998) 年度
36	岡田邸	西洋館	中区	平成 10(1998) 年度
37	横浜地方・簡易裁判所（旧横浜地方裁判所）	近代建築	中区	平成 10(1998) 年度
38	山手資料館	西洋館	中区	平成 11(1999) 年度
39	山手 234 番館	西洋館	中区	平成 11(1999) 年度
40	せせらぎ公園古民家（旧内野家住宅主屋）	古民家	都筑区	平成 12(2000) 年度
41	東隧道	土木産業遺構	保土ヶ谷区	平成 12(2000) 年度
42	大原隧道	土木産業遺構	南区	平成 12(2000) 年度
43	浦舟水道橋	土木産業遺構	南区	平成 12(2000) 年度
44	馬車道大津ビル（旧東京海上火災保険ビル）	近代建築	中区	平成 12(2000) 年度
45	旧横浜市外電話局	近代建築	中区	平成 12(2000) 年度
46	横浜税関	近代建築	中区	平成 12(2000) 年度
47	旧英国七番館（戸田平和記念館）	近代建築	中区	平成 12(2000) 年度
48	ベーリック・ホール	西洋館	中区	平成 13(2001) 年度
49	山手 76 番館	西洋館	中区	平成 13(2001) 年度
50	中丸家長屋門	古民家	泉区	平成 13(2001) 年度
51	響橋	土木産業遺構	鶴見区	平成 13(2001) 年度
52	昇龍橋	土木産業遺構	栄区	平成 13(2001) 年度
53	山手隧道	土木産業遺構	中区	平成 13(2001) 年度
54	赤レンガ倉庫	近代建築	中区	平成 13(2001) 年度
55	日産自動車株式会社横浜工場 1 号館（旧本社ビル）	近代建築	神奈川区	平成 14(2002) 年度
56	旧奥津家長屋門並びに土蔵	古民家	緑区	平成 14(2002) 年度
57	新港橋梁	土木産業遺構	中区	平成 14(2002) 年度
58	旧東京三菱銀行横浜中央支店	近代建築	中区	平成 15(2003) 年度
59	旧富士銀行横浜支店（元安田銀行横浜支店）	近代建築	中区	平成 15(2003) 年度
60	旧横浜銀行本店別館（元第一銀行横浜支店）	近代建築	中区	平成 15(2003) 年度
61	伊東医院	近代建築	戸塚区	平成 15(2003) 年度
62	旧ウイトリッヒ邸	西洋館	戸塚区	平成 15(2003) 年度
63	旧居留地消防隊地下貯水槽	土木産業遺構	中区	平成 15(2003) 年度
64	打越橋	土木産業遺構	中区	平成 15(2003) 年度
65	旧横浜松坂屋西館	近代建築	中区	平成 16(2004) 年度
66	桜道橋	土木産業遺構	中区	平成 16(2004) 年度
67	霞橋	土木産業遺構	西区・南区	平成 16(2004) 年度
68	インド水塔	近代建築	中区	平成 17(2005) 年度
69	谷戸橋	土木産業遺構	中区	平成 17(2005) 年度
70	西之橋	土木産業遺構	中区	平成 17(2005) 年度

	名 称	種 別	所在地	認定時期
71	旧バーナード邸	西洋館	中区	平成 18 (2006) 年度
72	山手 89-8 番館	西洋館	中区	平成 18 (2006) 年度
73	旧平沼専蔵別邸亀甲積擁壁及び煉瓦塀	土木産業遺構	西区	平成 18 (2006) 年度
74	二代目横浜駅基礎等遺構(第二代横浜駅駅舎基礎遺構および横浜共同電燈会社裏高島発電所遺構)	土木産業遺構	西区	平成 18 (2006) 年度
75	フェリス女学院 10 号館(旧ライジングサン石油会社社宅)	近代建築	中区	平成 19 (2007) 年度
76	ストロングビル	近代建築	中区	平成 19 (2007) 年度
77	旧灯台寮護岸	土木産業遺構	中区	平成 20 (2008) 年度
78	横浜税関遺構 鉄軌道及び転車台	土木産業遺構	中区	平成 21 (2009) 年度
79	インペリアルビル	近代建築	中区	平成 22 (2010) 年度
80	慶應義塾大学(日吉)寄宿舎(南寮及び浴場棟)	近代建築	港北区	平成 23 (2011) 年度
81	井伊直弼像台座及び水泉	土木産業遺構	西区	平成 23 (2011) 年度
82	フェリス女学院6号館別館	西洋館	中区	平成 24 (2012) 年度
83	河合邸	西洋館	中区	平成 24 (2012) 年度
84	旧神奈川県産業組合館	近代建築	中区	平成 24 (2012) 年度
85	旧神奈川県労働基準局(元日本綿花横浜支店倉庫)	近代建築	中区	平成 25 (2013) 年度
86	山手 26 番館	西洋館	中区	平成 25 (2013) 年度
87	霞橋(旧江ヶ崎跨線橋)	土木産業遺構	中区	平成 25 (2013) 年度
88	旧横浜生糸検査所附属生糸絹物専用B号倉庫及びC号倉庫	近代建築	中区	平成 25 (2013) 年度
89	鈴木家長屋門	古民家	旭区	平成 26 (2014) 年度
90	田邊家住宅(日吉の森庭園美術館)	古民家	港北区	平成 27 (2015) 年度
91	俣野別邸	西洋館	戸塚区	平成 28 (2016) 年度
92	旧市原重治郎邸	近代和風建築	神奈川区	平成 29 (2017) 年度
93	中山恒三郎家店蔵及び書院	西洋館	都筑区	平成 29 (2017) 年度
94	井土ヶ谷上町第一町内会館(旧井土ヶ谷見番)	近代和風建築	南区	平成 30 (2018) 年度
95	吉野橋	土木産業遺構	南区	平成 30 (2018) 年度
96	旧横浜外防波堤北灯台及び南灯台	土木産業遺構	鶴見区・中区	令和元(2019)年度

横浜市認定解除歴史的建造物一覧表

令和2年3月末現在
3件

	名 称	種 別	所在地	認定時期 認定解除時期
1	横浜松坂屋本館（旧野澤屋横浜松坂屋本館）	近代建築	中区	平成16(2004)年度認定 平成22年3月15日解除
2	日本ビクター第一工場ファサード	近代建築	神奈川区	平成11(1999)年度認定 平成22年12月20日解除
3	旧新井家住宅主屋（八巻家）	古民家	中区	平成12(2000)年度認定 平成30年4月24日解除

横浜市登録歴史的建造物保全契約一覧表

令和2年3月末現在
3件

	名 称	種 別	所在地	契約期間
1	横浜海洋会館	近代建築	中区	令和2年3月31日～ 令和12年3月30日
2	ジャパンエキスペスビル	近代建築	中区	平成26年5月7日～ 平成36年5月6日
3	横浜貿易会館	近代建築	中区	令和元年9月9日～ 令和10年9月8日

横浜市指定特定景観形成歴史的建造物一覧表

令和2年3月末現在
2件

	名 称	種 別	所在地	指定時期
1	旧円通寺客殿（旧木村家住宅主屋）	古民家	金沢区	平成27(2015)年度
2	旧藤本家住宅主屋及び東屋	古民家	鶴見区	平成28(2016)年度

第16期 横浜市歴史的景観保全委員

令和2年4月1日現在
(五十音順、敬称略)

	氏名	現職等
1	青木 祐介	横浜市ふるさと歴史財団横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 副館長 (有識者)
2	内田 青蔵	神奈川大学教授(専門:日本近代建築史、日本近代住宅史)
3	大野 敏	横浜国立大学大学院教授(専門:日本建築史・古建築保存修復)
4	小澤 美那	元山手資料館 館長(歴史的建造物保全活動者)
5	黒田 泰介	関東学院大学教授(専門:歴史的都市と建築の保存・再生)
6	後藤 治	工学院大学教授(専門:歴史的建築物及び町並の保存修復、歴史的建築物の保存に関わる制度)
7	志澤 政勝	元 横浜みなと博物館 館長(有識者)
8	嶋田 昌子	NPO 法人横浜シティガイド協会理事(有識者)
9	関 和明	関東学院大学名誉教授(専門:建築史、西洋館)
10	中藤 誠二	関東学院大学教授(専門:土木工学)
11	水沼 淑子	関東学院大学名誉教授(専門:近代日本住宅史)
12	宮 晶子	miya akiko architecture atelier 代表(有識者・建築家)
13	吉田 鋼市	横浜国立大学名誉教授(専門:建築史、近代建築)

※任期 令和2年4月1日～令和4年3月31日

歴史を生かしたまちづくりセミナー開催実績

回	開催年月日	テーマ
1	平成元年3月18日	港周辺の近代建築
2	平成元年8月26日	ウォーターフロントの歴史的資産
3	平成元年10月12日	歴史的環境を生かした都市の再生
4	平成2年3月31日	絹の道 ～市民ネットワーク
5	平成2年12月1日	横浜山手の西洋館
6	平成3年3月16日	茅葺き民家とその暮らし
7	平成3月11月16日	歴史的資産の保全と活用 ー内外事例に学ぶー
8	平成4年2月15日	横浜の洋家具
9	平成4年5月16日	歴史的資産の保全と活用 ーその制度を考えるー
10	平成5年11月23日	日本の近代化を支えた横浜の銀行建築
11	平成6年1月29日	まちなみを文化に昇華する ー歴史的文化遺産を生かしたまちづくりの方法論・英国・横浜ー
12	平成7年2月25日	都市の記憶を描く！ ー歴史的建造物の見方・描き方ー
13	平成7年11月25日	産業遺産の保存と活用を考えるシンポジウム
14	平成8年2月10日	歴史ある民家や洋館に楽しく住まう
15	平成8年6月25日	来て・見て・感じて！ ー西洋館の移築復元ー(外交官の家)
16	平成9年6月19日	ようこそ外交官の家へ ～国の重要文化財「旧内田家住宅」見学会～
17	平成10年3月7日	横浜の鉄道ものがたり
18	平成10年7月18日	都市の記憶を描く ー関内・山手歴史的建造物絵画展ー(～8月16日)
19	平成11年12月4日	緑の中の歴史的建造物を訪ねよう ～横浜南部偏～バスで巡る近代建築・古民家見学ツアー～
20	平成12年3月19日	絵画で感じる横浜の歴史
21	平成13年1月27日	新春ファミリー・ウォークラリー ～ぶらり訪ねる金澤・称名寺と駅前の歴史的建造物～
22	平成13年3月4日	建築探偵、横濱に来る！ ～藤森照信氏が語るハマの歴史的建造物の魅力～
23	平成13年11月10日	丘の上の学舎をめぐる～南区の歴史的建造物
24	平成14年3月3日	港ヨコハマの知られざる魅力 ～土木遺産偏～
25	平成14年12月15日	港ヨコハマの移りかわりと行き交う人々 ～絵から読み解く港ヨコハマ～
26	平成15年12月13日	京浜工業地帯と日本自動車産業の成立
27	平成16年3月20日	関内周辺てくてくウォッチング ～歴史的建造物の魅力大発見!!～
28	平成16年9月18日	横浜・谷戸の住まいと暮らし ～旧奥津家住宅見学と周辺散策～
29	平成18年3月11日	様式から見た近代建築 ～関内周辺近代建築散策～
30	平成19年3月10日	横浜三塔物語
31	平成20年3月8日	アントニン・レーモンド生誕120周年記念 建築家アントニン・レーモンドを知る
32	平成22年3月20日	金沢八景と明治の別荘文化 ～旧伊藤博文金沢別邸～
33	平成23年11月6日	近代建築の見方、楽しみ方
34	平成24年12月8日	日吉の近代建築
35	平成25年11月10日	歴史を生かしたまちづくり25周年 記念講演・シンポジウム

回	開催年月日	テーマ
36	平成 26 年 6 月 9 日	明日の歴史を生かしたまちづくり
37	平成 27 年 2 月 21 日	今を生きる古民家の保存と活用
38	平成 27 年 6 月 24 日	みんなで支える明日の「歴史を生かしたまちづくり」
39	平成 28 年 7 月 16 日	石の記憶
40	平成 29 年 9 月 9 日	震災復興橋梁 in 大岡川
41	平成 30 年 7 月 15 日	いぶし銀のまちづくり: ~生活・文化の視点から、まちを再評価する~
42	令和元年 8 月 4 日	野毛山のヒミツ ~どうしてハマっ子の憩いの場になったのか?~

歴史的景観保全事業 事業費の推移

(千円)

年度	予算		決算	
	事業費	市債＋一般財源	事業費	市債＋一般財源
平成 17 年度	22,000	22,000	35,615	28,019
平成 18 年度	74,000	74,000	41,507	40,707
平成 19 年度	67,500	62,300	68,867	62,617
平成 20 年度	68,000	48,000	94,370	62,370
平成 21 年度	76,300	52,300	76,098	42,098
平成 22 年度	48,900	7,070	45,496	4,078
平成 23 年度	62,550	15,430	61,124	15,414
平成 24 年度	80,820	80,820	80,356	80,356
平成 25 年度	70,595	70,595	39,718	39,718
平成 26 年度	65,080	65,080	77,074	77,074
平成 27 年度	36,950	36,950	36,044	36,044
平成 28 年度	42,045	32,045	33,710	28,019
平成 29 年度	57,110	41,110	38,130	31,735
平成 30 年度	54,999	41,999	50,865	37,865
令和元年度	47,599	42,599	41,110	41,110

歴史的景観保全活用事業 横浜サポーターズ寄附金(ふるさと納税)寄附額の推移

年度	企業・団体		個人		計	
	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)	件数	寄附額 (円)
平成 28 年度	1	2,000,000	31	3,658,000	32	5,658,000
平成 29 年度	0	-	45	968,000	45	968,000
平成 30 年度	5	48,100	38	1,265,000	43	1,313,100
令和元年度	1	2,200	28	610,005	29	612,205